

(1) 各教科の結果・分析の概要

【小学校 国語】

何について話し合われているかを考えて内容を聞く力、意見と理由を区別し文章全体の組立てを考えて書く力、登場人物の心情を想像しながら読む力、前後の関係を考えながら正しい語句を選ぶ力、漢字を正しく読む力などが身に付いている。

目的や意図に応じて文章の内容を正しく読む力、物語のあらすじを考えながら読む力、登場人物の心情や場面についての優れた表現に着目して想像を広げながら読む力、漢字を正しく書く力などは、今後一層高めていく必要がある。

【小学校 社会】

我が国の食料生産、工業生産、放送・新聞・電話などの産業、古代から明治維新までの我が国の歴史の学習内容において、社会的事象の特色、用語、人物の業績などが、よく理解されている。また、資料から事実を読み取ったり関連がある資料を選択したりする力が身に付いている。特色ある地域を地図から読み取る力、はっきりした理由をもとに考え判断する力、関心のある人物を選択してその理由を業績と関連付けて表現する力、人物の業績を年表と関連付けて考える力などは、今後一層高めていく必要がある。

【小学校 算数】

小数や分数の乗法、除法などの計算技能が身に付いており、三角形や平行四辺形の面積の求め方や立体図形の特徴についてもよく理解されている。また、多角形の角の和や立体の体積の求め方を工夫し、図や式に表現して考える力も身に付いている。

計算技能に比べ、問題場面から答えを求めるための式をたてていく、計算の意味理解がやや弱いと考えられる。計算の意味を実際の場面と結び付けたり、目的に応じて必要な計算を選ぶ力を、今後一層高めていく必要がある。

【小学校 理科】

人の血液の流れ方や仕組みなどの基本的な知識や理解、発芽実験において要因を抽出し条件を統一して実験を行うなどの観察・実験の技能の習得、気温の変化のグラフから天気の変化の様子を考えることについては、おおむね身に付いている。

川原や川岸の様子の違いを流れる水のはたらきで説明するなど身の回りの現象を要因と関係付けて考えたり、安全に観察・実験したり、解決方法を企画し記述したりする力などは、今後一層高めていく必要がある。